

# ■東日本大震災活動報告書

記入年月日 2011年6月30日

収支報告書の通り、支援金が不足しており、個人からの立て替え金で収支を合わせております。周りの方に支援金の呼びかけをお願いします。

(送金先) 埼玉りそな銀行 宮原支店

普通預金口座 4181235トクヒ) エヌピーオーサイタマネット

団体名	市民キャビネット災害支援部会			
代表者名	役職名 部会長	氏名(ふりがな)マツオ ミチオ 松尾 道夫		
所在地	〒338-0824 埼玉県さいたま市桜区上大久保 519 番地 1 埼玉県浦和・大久保合同庁舎 1 号館 (団体専用)			
記入者名	役職名 部会長	氏名(ふりがな)マツオ ミチオ 松尾 道夫		
記入者連絡先	TEL048-714-0501	FAX: 048-714-0509		
	携帯:090-6319-7090	メールアドレス:m.matsuo@tba.t-com.ne.jp		
活動名	東日本大震災緊急移送及び災害救助犬の派遣 (ヘリコプター運用、支援物資購入・移送)			
プログラム種別	<input checked="" type="radio"/> 1. 緊急救援活動	<input type="radio"/> 2. 生活支援活動	<input type="radio"/> 3. 復興支援活動	<input type="radio"/> 4. その他
活動期間・日数	1. 活動期間 (2011年3月11日～ 6月30日)			
活動した人数	1. スタッフ (のべ 525 人)      2. ボランティア (のべ 600 人)			
協力・連携した団体や機関	1. 岩手県災害ボランティアセンター 2. 遠野まごころネット 3. NPO 連携福島復興支援センター 4. NPO+ (仙台宮城緊急支援対策本部) 5. NPO 連携 GANBARO ↑ MIYAGI / 宮城復興支援センター			
活動した場所や拠点	1. NPO+ (仙台宮城緊急支援対策本部ワンファミリー仙台内)、[NPO連携] GANBARO ↑ MIYAGI / 宮城復興支援センター センターに3名常駐。 2. 埼玉県浦和・大久保合同庁舎内に本部設置 3. NPO連携福島復興支援センター (いわき市泉町 3-5-6) (都道府県名・市区町村名・地区名・拠点名等が分かるよう、具体的に記入してください)			
活動の対象者	1. 一般被災者を対象に人道支援を行っている被災地で活動するNPOネットワークを通じた支援 2. 気仙沼市でのヘリコプターによる初動支援 (人員緊急物資移送)			
支援者へのメッセージ	被災地への支援物資のご提供に感謝します。「市民航空災害支援センター」が運用したヘリコプター用燃料、機体損料。「復興支援チェーンソー部隊」が使用、貸し出すためのチェーンソー・ヘルメット。「輸送隊」がNPO+及び[NPO連携] GANBARO ↑ MIYAGI / 宮城復興支援センターに燃料不足の環境の下で寄贈したガソリン・軽油燃料。運用、支援物資購入資金として、支援金を大事に使わせていただきました。ご支援に感謝します。			

<p>活動した内容</p>	<p>平成23年3月11日14:46頃発生した東日本大震災災害は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地震規模が巨大である</li> <li>2) 大津波を伴った地震である</li> <li>3) 原発事故を誘発した</li> </ol> <p>という、未曾有の大災害である。</p> <p>しかしながら、阪神・淡路大震災と今回の震災との決定的な相違は、被災地にNPOがない時代とある時代の差である。私たちNPOはボランティアの発展形、リーダーと位置づけて活動してきました。</p> <p>私たちは被災地のNPOが自らの活動を前進させ、その上に地域の被災者支援の輪を広げていくことを目指します。また、被災した人たちが自主的なボランティアグループを形成し、それらが、支援活動や起業をしていくことをサポートすることを目指します。</p> <p>人命第1を基本に被災地との協働体制を築いてきた災害支援部会は今後長期にわたるであろう、復興支援を被災地のNPO・市民団体とともに進めていくことを表明し、東日本大震災復興NPO支援・全国プロジェクトの設立にもかかりました。</p> <p>(東日本大震災復興NPO支援・全国プロジェクト参加団体)</p> <p>遠野まごころネット  いわて連携復興センター  NPO連携福島復興支援センター  東日本大震災復興NPO支援・全国プロジェクト仙台事務所  NPO+ (仙台宮城緊急支援対策本部)  NPO連携 GANBARO↑MIYAGI/宮城復興支援センター  NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク (NVNAD)  被災地NGO協働センター  静岡県ボランティア協会  NPO法人ユニバーサルデザイン研究機構  NPO法人国境なき楽団  NPO法人NPO事業サポートセンター  NPO法人NPO埼玉ネット</p> <p>(活動)</p> <p>3月11日出動準備。3月12日被災地へ移動。  3月13日から市民航空災害支援センターヘリによる情報収集。災害救助犬及び救援隊派遣。  3月19日医療チーム(日本災害医療薬剤師学会)派遣協力。  3月18日から10t、4tトラック等による緊急物資移送を開始。菅生サーキットに前進基地を設置。この間スタッフ、復興支援チェーンソー部隊、ボランティアの派遣、衣料品、医薬品、石鹸、食料品、野菜、ガソリン・軽油・バイオ燃料等多彩な物資移送を多数行った。特に「復興支援チェーンソー部隊」の派遣。「輸送隊」によるNPO+及び[NPO連携] GANBARO↑MIYAGI / 宮城復興支援センターへの燃料移送もあった。</p> <p>活動内容を掲載したウェブ (<a href="http://citycabinet.nngo.jp/">http://citycabinet.nngo.jp/</a> )</p>
<p>活動の成果</p>	<p>発災直後の直接支援及び被災地で、自然発生的にできたNPOネットワークに対し迅速かつ強力な支援を行い、被災者支援を行った。</p> <p>被災地のNPOネットワークを孤立させない。被災者に「1人でないよ、つながっているよ」のメッセージを実働的に担い深い信頼関係を築いた。</p>